

# 令和4年度 福岡県優秀技能者被表彰者名簿

※年齢は令和4年11月18日現在

番号	職種	フリガナ 氏名 (年齢) 所属 (推薦団体)	技能の概要	写真
1	中間製品検査工	ヒライ タクミ <b>平井 琢巳 (57歳)</b>  日本製鉄(株)九州製鉄所	当人は、長年の経験から培った豊富な知識と優れた技能により品質改善から材料開発において極めて卓越した技能を保有している。 品質改善においては、鉄疵の調査解析力に優れており、疵のサイズ・輪郭・触感・色調などの特徴、含まれる元素の成分、発生位置等の全体感、疵の現物、画像等を総合的に判断し、数十種類ある疵を特定・分類する技能について秀逸を極める。 材料開発においては、鋼材に及ぼす成分影響の知識が豊富であることから、製造試験における適切な条件を判断できる技能を有する。	
2	マシンングセンターオペレーター	ショウノ コウスケ <b>庄野 孔介 (54歳)</b>  TOTOアクアテクノ(株)	入社以来35年間、水栓金具の製造に従事し工作機械を用いた金属加工全般に卓越した技能と知識を有しており、社内では機械加工技能師として認定され活躍している。 加工技能だけでなく工作機械の保全、設計、製図技能にも長けており、保全部品の自社設計を行い、交換時間の短縮や製作費のコストダウン、手扱い作業の自動化改善を行い、損益生産性向上を実現しており、長年の経験で培ったノウハウを後進に伝える教育プログラムのリーダーとして若手技能者育成を牽引している。	
3	プレス成形工	オチアイ ヨシノブ <b>落合 善信 (56歳)</b>  日産自動車九州(株)	入社以来、38年の長きに渡りプレス部品の品質及び、生産性向上に尽力され、特にプレス塑性加工において、重不具合であるワレ・シワ・歪調整知識、技能が卓越している。新型車の立ち上げに伴う試作業務においても、難成形特命業務の高度専門工長として、その能力をいかんなく発揮し、難課題に対し常に先頭に立ち品質向上に貢献すると共に、若手と一緒にOJTにより取り組む事で人材育成に寄与している。	
4	金型製造工	フジモト マサカズ <b>藤本 昌一 (57歳)</b>  (株)三井ハイテック 金型事業所	氏は、一貫してIC部品を製造する精密金型の組立・試抜きに従事しており、金型の組立技能において、当社で右に出る者がいない第一人者となっている。 近年、取引先が金型に求める精度も高度化し、1/1,000mm以下(サブミクロン)の精度が要求されている。 このような金型の組立技能は、機械精度では対応できない領域、人間の五感を最大限に駆使することが要求され、当該分野における氏の技能は、業界でもトップレベルである。	
5	金型製造工	フクモト ヒロユキ <b>福元 裕幸 (54歳)</b>  トヨタ自動車九州(株)	35年間一貫してプレス金型に携わり、製作から生産準備・保守保全、型保全マン育成業務に従事。技能の研鑽に精励し、仕上げ・機械加工・金属熱処理等の知識、技能により生まれの良い金型による品質、メンテナンス性、生産性を向上させてきた。 また旺盛な研究心と勤勉さは型保全業務に携わる者の模範とされ、県技能検定委員を10年務め福岡県の技能検定制度に大きく貢献し、自社においてもプレス型保全のレベルアップに大きく影響を与える存在となっている。	
6	生産設備保全工	ハタセ ナオユキ <b>畑瀬 直幸 (54歳)</b>  トヨタ自動車九州(株)	36年間自動車生産設備の設置・保全・改善・導入と保全業務全般に従事。 この間に培った知識と技能を駆使して組立設備や付帯設備の保守・保全に努め、常に自己研鑽を怠らず妥協を許さない仕事への取り組み姿勢は他の模範・目標となる存在で、今日の高品質・量産体制の確立に多大な貢献をした。 また、平素から後進の指導・育成にも熱意を持って接し、自己啓発では技能検定や資格修得による技能向上に向けての活動推進で職場全体の活性化にもなっている。	

# 令和4年度 福岡県優秀技能者被表彰者名簿

※年齢は令和4年11月18日現在

番号	職種	フリガナ 氏名 (年齢) 所属 (推薦団体)	技能の概要	写真
7	発電・送電員	ミナミジマ ケイシ <b>南嶋 敬史(55歳)</b>  九州電力(株) 新小倉発電所	入社以来、長きにわたり様々なプラントの運転業務に携わり、設備の特性を捉えた運転操作や、幅広い専門的知識を習得し、電力の安定供給に多大な貢献を果たしてきた。 また、発電所の安定運転を行う上で最重要課題である「人材育成」と「技術継承」においては、職場のリーダーとして、これまで培った知識、技術、経験を余すことなく適時適切に指導、助言を行い、職場の技術力向上に努めてきた。	
8	染色・仕上工	タナカ センゾウ <b>田中 善藏(69歳)</b>  (有)田中屋 (福岡県和裁技能士会)	江戸時代に紺屋から紋章上絵師と紋章を描く専門職が生まれ、紋章を描くために使用する道具は江戸時代から現代までほとんど変わらず、竹のコンパスと定規とネズミの髭筆を巧みに操り家紋を描く技法は、国の無形文化財に指定されている。氏は、家紋の存在や必要性が薄れていく現代において、家紋上絵師という職を50年に渡り続ける中、歴史ある家紋を語り、専門の技能、技術を後継の人達に伝承すべく教育・指導に尽力している。	
9	左官	ハマツ ヤスヒデ <b>濱津 泰英(71歳)</b>  (有)濱津工務店 (福岡県左官業組合連合会)	昭和45年に左官見習いとして入社以来、51年の長きに亘り、左官工事業に携わり、長年培った経験とその優れた技能により伝統工法から現代工法を用いて、あらゆる現場の適材適所で対応する技術を有し、その技能は高い評価を得ている。 また、この業界の後進指導にあたり業界発展に貢献し、現在は、福岡県職業能力開発協会の技能検定委員となり、後進技能者の育成・指導に尽力している。	
10	造園師	シバタ ヨウキ <b>柴田 耕輝(74歳)</b>  (株)柴田造園 (一社)福岡県樹芸組合連合会)	昭和41年から56年間の長きにわたり造園業に携わり、その優れた技能は高い評価を得ている。特に、伝統的技術を基にしながら現代の環境に見合った造園技能の改善と向上に努め、作庭する際には、樹木の特性を十分理解し、10年後、20年後の姿を見据え、伝統技法と現代風技法を融合させた四季の変化を十分に楽しめる作庭に定評がある。また、自社社員の技能育成指導はもとより、造園技能講習会の講師や造園技能検定委員など、後進技能者の育成に貢献している。	
11	ゴム製品成型工	オオツボ ミチエ <b>大坪 満枝(57歳)</b>  (株)ムーンスター	昭和59年に月星化成株式会社(現在の株式会社ムーンスター)に入社し、それ以来一貫して靴の加工及び縫製業務に従事している。「加工業務」と「縫製業務」に従事しているが、この2つの業務の双方とも習得しているものは、当社の中でも数少なく、貴重な存在であり、周りからも高い評価を得ている。 また、明るく元気な社風づくりにも率先して取り組んでおり、後輩に対しての信頼も厚いため、後進指導育成に大きく貢献している。	
12	洋生菓子製造工	ハタノ ナオキ <b>波多野 直樹(55歳)</b>  (有)くるみの木 (一社)福岡県洋菓子協会)	調理師学校と福岡の洋菓子店で洋菓子の基礎を学んだ後、渡欧。 ドイツ南西部の都市シュツットガルト郊外の有名菓子店「シュライヤー」で修行の傍ら、ドイツ国立マイスター学校に学ぶ。マイスター試験に合格後帰国。福岡に戻り勤めた二つの洋菓子店において、欧州菓子のマイスターとして実力をいかんなく発揮し、焼き菓子はもちろんプーチガト、デコレーションケーキ、チョコレート菓子等次々にヒット商品を開発し、両店ともに地域の繁盛店となることに貢献。五年半を経て独立し、「くるみの木」を開業した。	

# 令和4年度 福岡県優秀技能者被表彰者名簿

※年齢は令和4年11月18日現在

番号	職種	フリガナ 氏名 (年齢) 所属 (推薦団体)	技能の概要	写真
13	西洋料理調理人	ニシムラ マサミ <b>西村 正美 (52歳)</b>  ホテルニューオータニ博多 (一社)全日本司厨士協会 福岡県本部)	西洋料理の調理人として長年従事し古典料理の基礎を習得し、ホテルの料理の歴史を継承しつつ、日々の料理技術の研鑽に励んでいる。業界トップクラスの卓越した技能と共に時代に見合った料理と九州・福岡の地元食材の特徴を存分に生かし、日本人にも馴染みやすい西洋料理を創造しており、福岡県内外の幅広い層のお客様に喜んでいただけるオリジナル性豊かな料理を提供している。	
14	中国料理調理人	シバタ ミチトシ <b>柴田 眞利 (56歳)</b>  中華菜館 五福 (福岡県調理師連合会)	中国料理の世界に入り、三十数年従事し培った知識、技術を有しており中華料理全般、特に四川料理の域においては、卓越したものがある。肉料理、海鮮料理を問わず香辛料との融合は群を抜いている。また、四川料理界の重鎮の斉藤隆士氏に師事しており、そこで培った知識や技術を生かし、博多でとれる食材を中心に、素材の良さを保ちつつ、香辛料との融合で、バランスの良い料理に仕上げている。料理本(専門書)における作品を見れば基本と進化の両立を兼ね備え、他の料理人とは一線を画している。	
15	バーテンダー	クラヨシ ヨウジ <b>倉吉 浩二 (62歳)</b>  合同会社倉吉 BAR倉吉 (一社)日本ホテルバーメンズ協会)	カクテル製作技術とオリジナルカクテルの創作センスを有しており、独自の卓越した技能へと昇華している。材料を短時間で混ぜ合わせ柔らかく滑らかな味わいに仕上げるハードシェークと、類いまれぬステアの技術を持ち合わせる。また、「ビバレッジハンドラー技能講習会」にて、その技術を惜しみなく全国のバーテンダーへ広める活動を20年以上行っている。	
16	金属建具取付工	サカモト ヒロシ <b>坂本 弘 (51歳)</b>  (株)岩下建装 (一社)全国建設室内工事業協会 福岡地区支部)	軽鉄工事の施工に長年従事し培った知識・技能を有しており特に間接照明、曲面天井、野縁受け加工が重要なポイントとなる。独自の加工方法を考案しその結果、役物加工作業の大幅な時間短縮を可能にした。保有した貴重な技術を多くの若手社員や他の職人に伝承すべく指導・育成に貢献している。	
17	人形製造工	オガタ ケイコ <b>緒方 恵子 (57歳)</b>  博多人形古今 (博多人形商工業協同組合)	平成14年入門以来、人形の表現に説得力と安定感のある造形をするうえで欠かせないデッサン力を身に付け、さらに日本に伝わる意匠やデザインの特徴や法則を人形作りに生かしている。衣装や物の質感は、針で直接粘土に彫り込みを入れて凹凸感を持たせることによる写実的な表現に拘っており、毛描きは、筆の穂先を割り、生え際や髪の毛の流れを繊細に描くことを心がけている。新作博多人形展において数々の賞を受賞するなどその技術力は高い評価を得ている。	
18	フラワーデザイナー	エトウ エツコ <b>江藤 悦子 (71歳)</b>  北九州フラワーデザイン 江藤悦子スクール (一社)日本フラワーデザイナー協会 福岡県支部)	フラワー装飾業務に携わり、フラワーデザインスクールにおいて有資格者の指導育成・技術向上に努めている。資格検定試験の指導では、構成理論、基礎知識を重要と考え講義を行い、より理解を深めて実技練習も効果的な指導方法を取り入れ、資格を取得する期間を短縮できるようにした。技能士を目指す高校生の資格取得期間も短縮でき、多くの技能者を輩出できた。地域においても、永年にわたり指導育成、技術向上に努めている。	